

プリザーブドフラワー

奨学金等のご案内

●大谷喜一記念財団「むすんでひらいて基金」奨学生

大谷喜一記念財団より中学校へ、「令和5年度奨学生募集要項」が届きました。（通常、「令和6年度」と表記することが多いのですが、要項通り「令和5年度」と記しました。）

1. 応募資格

- (1) 北海道内の中学校に在学する3年生で高校進学（*指定校あり）を希望する生徒。
応募者多数の場合は公立高校合格者を優先とする。
※ 指定校は、数が多いため案内しませんが、札幌西高校、札幌東陵高校等、多くが公立の全日制、定時制高校です。関心のある方は係（高野）へお問い合わせください。コピーをお渡しします。
- (2) 在学する学校の長から推薦を受けた生徒
- (3) 各中学校からの推薦は原則最大2人

2. 奨学金支給額と定員

- (1) 月額10,000円を入学時から正規の最短修業年限の終期まで（返済不要）
- (2) 定員は最大100人

3. 選考方法

- (1) 中学2年生時の平均評定をベースとし、原則3.5以上であること。
- (2) 前年の世帯年収、家族構成等を参考にします。家族全員の合計年収で600万円以上の高額所得がある方は、原則として応募をご遠慮ください。
- (3) 願書に記載された「志望理由」、「資格」、「これまで努力したこと（部活動、生徒会役員活動、特技など）」及び「これから努力をしたいこと（志望校、将来の目標など）」などを基に審査します。

☆ 校内〆切を10月6日（金）といたします。希望者は、保護者から直接、係（高野）宛に電話連絡をお願いいたします。

再掲 【札幌東陵高等学校】＝学校説明会（対象＝中学生、保護者）

進路通信60号（7月7日発行）にも記しましたが、10月13日（金）18：30～20：00（受付18：00～）の時間帯で札幌東陵高校の（第2回）学校説明会が行われます。

学校説明会の参加希望者は、札幌東陵高校のHPより各自で申し込みください。（中学校への連絡は不要です。）なお、受付は9月15日（金）16：10～10月4日（木）16：00です。

【札幌山の手高等学校】＝オープンスクール（対象＝中学生、保護者）
＝クラブ体験会（対象＝中学生）

本日、札幌山の手高校からいただいたプリントを3年生全員に配布しました。

プリントには、10月14日（土）に開催されるオープンスクールと9月23日（土）、24日（日）に開催されるクラブ体験会について記されております。

学校説明会及びクラブ体験会の参加希望者は、札幌山の手高校HP内にある「受験生応援サイト Yamanote+」より各自で申し込みください。（中学校への連絡は不要です。）

●私立高校の特待（優遇）制度について

次号より、何号かに渡って私立高校の特待（優遇）制度について掲載する予定です。進路選択の資料としてください。

なお、各私立高校の募集要項等を見て、間違いのないように転記したつもりではありますが、正しくは各私立高校が発行している募集要項でご確認ください。

募集要項は、①生徒や保護者を対象とした高校（入試）説明会に参加したり、②各私立高校のHPから問い合わせを行うと入手できると思います。また、中学校で保存している私立高校もいくつかありますので、係（高野）へ連絡していただいても構いません。

@coffee break 医師国家試験の合格率

2023年2月4日、5日に第117回医師国家試験が行われました。

受験者数は10,293人で合格者数は9,432人で合格率は91.6%でした。

合格率91.6%と聞くと「医学部に進学（入学）できれば、大体、医者になれる。」と思われませんか。実はこの医師国家試験の合格率、ちょっとした「からくり」があるのです。

確かに医師国家試験の合格率は91.6%ですが、新卒者（大学卒業時に受験）の合格率が94.9%なのに対し、既卒者（いわゆる「浪人生」）の合格率は55.2%で、2浪以上した方の合格率は20%程度といわれております。

医師国家試験の合格率を高くするため、優秀な学生は6年で卒業できますが、優秀とはいえない学生には留年措置などを行い国家試験を受験できないようにしている医科大学、医学部も多いといえます。

「医学部入学＝医者」ではなく、「医学部に入ってから勉強（学習）が大切」なのですね。

また、先に記した「からくり」があることから、国家試験の合格率だけで大学を評価することはできないといえます。

北海道大学医学部の医師国家試験の合格率が92.2%なのに対し、東京大学医学部（多くは入学するのが最難関といわれる「理科三類」の合格者で、ドラマ「ドラゴン桜」では「理三に入れるのは宇宙人だ！」と解説）の医師国家試験の合格率は90.8%で、全国平均を下回っています。